

# 針 方 政 施

## 第446回 市議会定例会

2月27日

### 危機管理



3月下旬に、県の南海トラフ地震に関する新たな被害想定が公表される予定です。地域の実情に応じた詳細な見直しが行われ、従来の人的被害や建物被害に加えて、災害関連死の想定も公表されます。また、16の場面・人物像を基にした被災シナリオや被害の様相が示されますので、新たな被害想定を基とした直接死と災害関連死を防ぐ対策に取り組むとともに、被災シナリオにより住民への啓発を強力に進めます。

5月から、気象庁による新たな防災気象情報の運用が開始されます。河川氾濫・大雨・土砂災害・高潮に対する防災気象情報を5段階の警戒レベルと整合させ、災害発生危険度に応じたレベルの数字と併せて発表されることとなり、現行の大雨警報・注意報などが大きく変更されますので、混乱が生じないように、丁寧な説明・啓発を行います。

### 財政



令和8年度一般会計予算は、人件費、扶助費と公債費の増などがあつたものの、図書

館関係の都市再生整備事業費、農業振興育成補助金等事業費とICT環境整備事業費の減により、総額で前年度比約2億9000万円減の約255億5000万円です。市債の発行見込み額は、図書館関係の都市再生整備事業費の減もあり、前年度比6億9740万円減の11億9760万円となり、一般財源総額は前年度比約5億6100万円の増です。

### 企画



地域づくり事業は、コロナ禍で中断した地区の懇談会を、2月21日に大篠地区を対象に開催しました。令和8年度からはその他の地区でも順次開催していきます。

マイナンバーカードは、本市の昨年末現在の保有率は、75.4%であり、前年同期と比較して、4.2ポイントの増です。令和8年度からの3年間は、約2万5500人のカード本体や電子証明書などの更新時期となりますので、円滑な更新手続きに努めます。

DX推進は、令和8年度から第2期DX推進計画の3年間の計画期間が開始します。市民サービスの向上と業務効率化を意識したBPRと人材

育成の強化を重点課題と位置づけ、引き続き取り組みを進めます。

### 税務



令和8年度の税収は、前年度比1億778万7千円の増となる65億387万7千円を見込んでいます。内訳としては、賃金と最低賃金の上昇の影響を受ける個人市民税を含む市民税は1億4286万3千円の増収、固定資産税は堅調で7213万7千円の増収です。一方、軽自動車税は環境性能割が令和8年税制改正により廃止予定であることに伴い834万9千円の減収、そのほか、市たばこ税は2872万3千円の減収、鉱産税は5万1千円の減収を見込んでいます。

### 民生



高齢者関係は、令和8年度は令和9年度から3年間を計画期間とする第10期介護保険事業計画を策定します。介護予防施策については、短期集中予防サービスやフレイル予防などに効率的に取り組ま

保健康関係は、令和8年度から、第4期健康増進計画、第5

### 教育



**学校教育**  
第2期の南国市保幼小中連携学力向上推進プランに取り組み、就学前から小学校、中学校へのスムーズな接続を行い、学びの質のさらなる向上を図ります。

**生涯学習**  
地域交流センターみあーれは、令和8年度に高知県で初めて開催される国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭である「よさこい高知文化祭2026」に向けた準備を進めるとともに、適正な施設の維持管理と運営に努めます。

### 農林水産



国営ほ場整備事業は、工事が完了している下島工区と能間工区で、昨年11月の権利者会議で整備後の土地の場所、面積を定めた換地計画が議決されました。浜改田西部、堀ノ内工区は、順次区画の工事が完了し、継続して残る区画の工事を行う予定です。廿枝工区では、令和8年度の工事に着工に向けて準備を進めています。

営農の取り組みは、本市と産地化の協定を結んでいる双日土佐農人株式会社、令和4年度から取り組んでいるタマネギの栽培を約7haに拡大し、大規模な産地化に向けて取り組みを進めています。能間工区で計画している次世代型施設園芸団地は、株式会社下村青果商会在約1.8haの次世代型ハウスを建設しており、令和8年度からキュウリの栽培が開始される見込みです。

中山間地域の簡易給水施設は、引き続き奈路地区の飲料水供給施設の整備を進めます。

### 建設



市道の新設・改良事業は、

社会資本整備総合交付金事業を活用して、主要な道路10路線の整備を進めます。また、道路メンテナンス補助事業により継続した橋梁の定期点検を実施するとともに、3橋の修繕工事を進めます。

農道と水路の改修は、農林事業分担金制度により各地区の施設整備などを継続して実施します。また、老朽化した農道や水路の補修、揚水ポンプなどの機械施設などの修繕を実施します。

### 都市整備



JR後免駅の駅前広場整備事業は、早期の供用開始に向け、令和8年度中に工事に着手する予定です。また、JR後免駅の駅前広場に隣接する駅前緩衝緑地公園などの再整備事業は、駐輪場を拡大して屋根付き駐輪場とするほか、公衆用トイレを設置するなど、

### 上下水道



**上水**  
基幹管路の地震対策は、引き続き中部水源池から配水池までの送水管耐震継手補強工事を進めるとともに、久礼田水源池から配水池までの送水管耐震化工事を進めます。

### 下水

工事関係は、未普及対策として進めていた後免町商店街の汚水管渠整備工事が完了しました。令和8年度は、篠原地区の汚水管渠整備工事を進めます。また、浸水対策は、引き続き新川雨水枝線工事を進めます。

### 福祉



地域福祉関係は、重層的支援体制整備事業の令和8年度

からの実施を計画しています。

障害福祉関係は、令和9年度から高知県重度心身障害児・者医療費助成事業の対象者に精神障害者が追加される予定です。円滑に対応できるように準備を進めます。

### 消防



令和7年中の火災出動件数は17件で、前年と比較して5件の減、救助活動件数は27件で7件の増です。また、救急出動件数は3327件で、過去最高を記録した令和6年を142件上回っています。

火災予防は、住宅火災防止に重点を置き、防火管理指導、火災予防広報、林野・屋外火災対策、防災教育を関係機関と連携して総合的に推進すること、市民の生命と財産を火災から守る取り組みを進めます。

消防団は、本年4月に消防団活性化総合計画の更新を予定しています。若年層の消防団員の確保や、各地で頻発する林野火災に備えた長距離放水訓練などを、計画に基づき実施します。



▲詳細はこちら